

人 輝く・安芸高田



あきたかた

# 議会だより

今回の題字は、<sup>つか</sup>塚<sup>もと</sup>本<sup>り</sup>梨<sup>な</sup>菜さん（郷野小学校6年生）です。



表紙の絵は「平成24年度文化財を描こう」教育長賞 田中 <sup>はいや</sup>慧哉くん（当時来原小学校6年生）  
「秋の原田八幡神社」です。

6月定例会 .....2~5  
常任委員会報告 .....6~8

一問一答  
15人が**市政を問う**.....9~16

24年度政務調査費 ..18~19

あんな こんな  
**地域のかがやき**.....22

第38号

2013(平成25)年8月1日発行

可  
決

# 地方交付税削減による国の要請を受けて 行政経営を重視

## 削減見込額 8549万円

## 6月定例会

6月定例会を、6月13日～28日までの会期で開催しました。

一般会計補正予算など9議案は、質疑・討論等あり、すべて原案のとおり可決しました。(補正予算審査は4～5ページに掲載)

各常任委員会では、要望審査や所管事務調査を実施しました。(各常任委員会の審査は6～8ページに掲載)

一般質問では、15人が市政を問いました。(9～16ページに掲載)

**議案第56号**  
職員の給与の臨時特例に関する条例

## ■ 質疑

**前重** 削減率の根拠は。また、国に対して意見書の提出は。  
**沖野総務部長** 削減率は近隣市町を参考にした。

**市長** 意見書の提出は、県の市長会として要望書を提出している。

## ■ 討論

**■ 反対**  
**宍戸** 地域活力の低下につながる。

**秋田** 地方交付税の削減が職員給与に影響を与えるのは好ましくない。

**■ 賛成**  
なし

**議案第57号**  
特別職の職員等の給与の臨時特例に関する条例

## ■ 討論

**■ 反対**  
**宍戸** 地域活力の低下につながる。

**■ 賛成**  
なし

## ■ 採決

**■ 賛成**  
玉重、下岡、石飛、児玉、大下、水戸、先川、山本、藤井、青原、金行

**■ 反対**  
玉井、久保、前重、熊高、宍戸、秋田



条例制定

# 職員給与カット

(7月～来年3月まで)

## 一般職5.8% (平均)

## 特別職(市長15% 副市長・教育長10%)

### 諮問 (2件)

○人権擁護委員の推薦

藤井 敏法さん  
美土里町桑田

### 承認

兼光 洋子さん  
向原町坂

### 同意 (3件)

○固定資産評価審査委員の選任

小川 博昭さん  
吉田町常友

女鳥 清治さん  
甲田町高田原

木原 張登さん  
向原町有留

### 同意

### 採決

#### ■賛成

玉重、下岡、石飛、  
児玉、大下、水戸、  
先川、山本、藤井、  
青原、金行

#### ■反対

玉井、久保、前重、  
熊高、宍戸、秋田

### 決定

## 議員報酬 削減せず

議員報酬については、全員協議会で協議の結果、削減を行わないことに決定しました。

### 全員協議会

### (付議された案件)

#### 条例関係

○議案第51号 火葬場条例を廃止する条例

○議案第56号 職員給与の臨時特例に関する条例

○議案第57号 特別職の職員等の給与の臨時特例に関する条例

○議案第58号 土師ダム周辺環境整備施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

#### 公的財産関係

○議案第50号 財産の無償譲渡

【消防団詰所関係】

#### 予算関係

○議案第52号、55号 一般会計補正予算ほか (4会計)



一般会計

# る事業など 2億6963万円追加

(総額 212億2863万円)



高速バス停美土里駐車場

予算決算常任委員会

6月13日の本会議  
で審査を付託された  
25年度一般会計・特  
別会計補正予算案  
を、6月14日委員会  
を開き慎重に審査し  
ました。

委員長 青原敏治  
副委員長 先川和幸  
委員 議長を除く全議員

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 企画振興部

前重 光ネット普及  
促進事業委託料512万  
円での雇用人数と期  
間は。

■ 広瀬情報政策課長

2名で8月から来  
年3月までを予定。

秋田 高速バス停美

土里駐車場の用地購  
入面積と場所は。

■ 山平政策企画課長

現地の駐車場に隣  
接する山林約150  
0㎡を予定。

■ 市民部

児玉 今回の庁舎へ  
の太陽光発電システ  
ム設置による投資費  
用の回収年数は。

■ 中村市民生活課長

50年くらいかかる  
計算になる。

熊高 今回の緊急対  
策の費用を太陽光発  
電設置に使っている  
が、どのような意義  
があるか。

■ 中村市民生活課長

市が環境に取り組  
む姿勢を示し、市内  
に太陽光発電の普及  
を図りたい。

藤井 太陽光パネル  
の設置場所と耐用年  
数は。



太陽光パネル設置場所（第1庁舎・第2庁舎）

# 地方の元気臨時交付金を充当す ★庁舎太陽光発電システム 5010万円 など

## 中村市民生活課長

第1・第2庁舎の南向きの屋根に設置。耐用年数は20年以上としている。

**水戸** 再生可能エネルギー環境基礎調査を進めているなか、今回なぜ太陽光発電となったのか。

## 中村市民生活課長

基礎調査にはバイオマス、水力など様々あるが、いずれも取り組みにくいと判断した。

**玉重** 学校等にも太陽光パネルを設置してはどうか。

## 新川市民部長

国をあげての政策を含めて、結果を踏まえて考えたい。

## 福祉保健部

**熊高** 子育て支援に関係する運営費の財源比率が、国よりも市のほうが大きい理

由は。

## 可愛川子育て支援課長

「子ども子育て支援事業計画」を策定するにあたり、新システム導入の電算改修に係る費用とアンケート調査は国の補助対象だが、費用が大きく必要となる計画書作成は補助対象とならないため。

## 教育委員会

**児玉** 国際交流事業で今年度は定員以上の

## 産業振興部

応募があるが、未来への投資という観点から、予算面でもより積極的な考え方で今後進めてはどうか。

**沖野教育次長** 今後しっかり議論を重ねていきたい。

## 熊高

合併前からの課題整理のため、今回八千代の四季の里農園を整理されるが、今後の施設運営



芸術農園四季の里



四隅突出型墳丘墓保存で林道のルート変更

管理をどのように考えているか。

## 清水産業振興部長

農園部分は担い手育成を図るため、農業技術大学校生徒の卒業後の研修施設として、水稻部門は地元農業法人で今後も活用していただく。

費の発掘調査の内容は。

## 佐々木農林水産課長

工事の最中に古墳が発見されたため、文化財保護審議会と協議しながら発掘調査を行っている。また、古墳は保存されることとなり、林道のルート変更を考えている。

## 金行

林道新設改良

総務企画常任委員会

6月定例会で付託された議案はなく、6月20日に委員会を開き、2件の所管事務調査を行いました。

(所管事務調査)

○八千代支所整備計画の進捗状況について

○八千代グラウンド(根野交流広場)の経過状況について

- 委員長 山本 優
- 副委員長 石飛慶久
- 委員 玉重輝吉
- 水戸眞悟
- 熊高昌三
- 塚本 近



現在の八千代支所

# 当面凍結

八千代支所庁舎整備計画  
設計予算 769万円

■概要

八千代支所庁舎は耐震化されておらず、老朽化も進んでいる。有利な合併特例債を使うため、庁舎整備の実施設計業務を予算計上したが、職員定員適正化と公共施設現状分析の結果による判断が必要であるため、当面この事業を凍結する。

■概要

21年に普通財産である八千代グラウンドを「企業立地ガイド」に掲載した。24年に近隣住民代表者より、根野交流広場として利用したい旨要望書が提出され、当面地元管理のもとで利用を認めている。今後地元理解を得て若者定住団地などに活用したい。

# 八千代グラウンドの将来の活用策は

■質疑

熊高 要望は、地域全体の意思を反映しているのか。

沖野総務部長 地域全体の要望ではなく、近隣住民2名と賛同された1名の方と解釈した。地元振興会などの動向待ちの状況。

水戸 広場としての利用実態、維持管理等は。

内藤財産管理係長

広場でなく空き地として普通財産の位置づけ。支所で申し込みを受けるが許認可はない。地域のとんどやグラウンドゴルフなどに利用されている。維持管理は、上根振興会に年3回の除草作業を委託している。

塚本 本件に限らず、全市の普通財産の方

向性を示す必要があるのでは。

沖野総務部長 現状では売却できる普通財産はほぼ処分できている。残りの普通財産も整理したい。



八千代グラウンドの現状

文教厚生常任委員会

6月定例会で付託された議案はなく、6月21日に委員会を開き、陳情1件を審査、所管事務調査を実施しました。

(審査)

○教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する陳情

(所管事務調査)

○市税等の滞納整理について  
○安芸高田市給食会計状況について

- 委員長 児玉史則
- 副委員長 前重昌敬
- 委員 玉井直子
- 下岡多美枝
- 青原敏治
- 金行哲昭

陳情

◎教育予算を増額し義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書提出に関する陳情

**陳情者要旨** 広島県教職員組合ひろしま地区支部  
 1、教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育費国庫負担制度について国庫負担率を2分の1に復元することを含め制度を堅持すること。  
 2、学校施設整備費、就学援助奨学金、学校通学路の安全対策など教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

**【審査の経過】** 上記の陳情は委員会で採択し、諸手続きを経て関係機関へ意見書を提出することとしました。

■主な質疑

青原 これまでの苦情・要望などは、**中村市民生活課長** 施設内の表示がわかりにくい、駐車場の出入りについてなど、10数件の苦情・要望があった。今後、対応していきたい。

平成25年4月1日に供用開始した、安芸高田市葬斎場「あじさい聖苑」を現地調査しました。

安芸高田市葬斎場  
「あじさい聖苑」を  
現地調査しました。

4月～6月の使用状況

火葬	111回
通夜	8回
葬儀	12回
待合室	22回
霊安室	1回
ペット火葬	31回



説明を受ける委員

## 産業建設常任委員会

6月定例会で付託された議案はなく、送付された要望2件を6月24日に委員会を開き慎重に審査しました。

また、2件の所管事務調査を行いました。

## (審査した要望書)

○主要地方道東広島向原線から市道見坂線への進入路新設について

○道の駅開設について

## (所管事務調査)

○空き家対策の取り組み状況について

○道の駅について

委員長 大下正幸  
副委員長 穴戸邦夫  
委員 久保慶子  
委員 先川和幸

秋田雅朝  
藤井昌之

## 要望

## ◎主要地方道東広島向原線から市道見坂線への進入路新設について

要望者 向原町保垣地域住民一同

要旨 市道見坂線、八幡1号線の2路線は、鷹ノ巣山林道を経由して東広島市福富町へ接続している重要な交通網であるが、主要地方道東広島向原線からこの路線への車両進入が道路幅も狭く困難である。

【審査の経過】 上記要望は、委員会で採択し、諸手続きを経て要望書を送付することとしました。



現地から鷹ノ巣山を望む



現地にて

## ◎道の駅開設について

要望者 八千代地域振興会（上根・下根・佐々井・土師勝田）・J A広島北部八千代支店産直市グループ

要旨 道の駅を八千代町佐々井（八千代産直市）周辺に誘致して欲しい。

【審査の経過】 上記要望は、下記の理由で不採択としました。

- ・執行部の説明では、これまで検討会など20数回にわたって検討され、市としても国との協議で現在の吉田町可愛地域にある「ふれあいたかた産直市」へ決定している。
- ・市長答弁では、位置が決まって国が予算化をしており、変わることはないとしている。
- ・要望そのもの自体は十分理解できるが、市の方向性に変更はないという答弁であり、委員会としてもこれ以上のことはできないと判断しました。

# 15人が 一問一答 市政を問う



矢野 邦夫  
(無所属)

**矢野** 高齢者が生産する野菜を農家に出向いて収集する仕組みができないか。

**市長** 実態など踏まえながら今後の対策も検討したい。

**矢野** 「食生活改善推進協議会」の位置付けは。

**市長** 国の補助事業として実施されてきたが、現在は市が担う事業として位置付けている。

**矢野** 支援内容は。

**市長** 年間を通じて各種研修、調理実習、地域に出向いて伝達講習など、活動に取り組んでいただいている。要請に応じて、

<b>食</b>	<b>育</b>
<b>市長／市が担うべき事業として支援</b>	<b>食生活改善推進協議会の活動は</b>

管理栄養士などの人的支援や、補助金の助成を行っている。

**矢野** 今後の支援策として活動拠点の整備は。

**市長** 活動において支障をきたすような事情がある場合、調査したうえで必要な措置について検討する。



「健康フェスタ 2013」にて

# 不感地域解消は

## 市長/事業者交渉をさらに進める

### 携帯電話



水戸 眞悟 (絆)

**水戸** 市内には携帯電話不感地域が点在する。いずれの地域も災害危険箇所指定地域と重なる場合が多い。加えて消防無線の不感地域と重複する。災害時は勿論日常生活においても

ケーブル系通信インフラのみでは不安である。不感地域早期解消は今日的課題であるが市長の所信を伺う。

**市長** 携帯通信事業者に対し基地局増設の要望を続けている。全域がカバーできていないことも承知している。費用対効果の観点もあるが安全安心な生活環境の確保のために、基

地局増設にさらなる交渉を重ねたい。

### その他の質問

- 中国横断自動車道尾道松江線の開通と本市の活性化施策
- 中国自動車道利用と高宮、美土里高速バス整備
- 本市における児童虐待事案の現状と対策



携帯電話不感地域解消が急務



下岡多美枝 (無所属)

**下岡** フェンスの無い校庭内に、シカが糞をしている。衛生的で安心安全な環境対策は。

**教育長** 毎日の清掃活動をはじめ学校教育全体を通じて取り組んでいる。道徳教育において「愛校心」等を養うなど、保健学習などの衛生等について指導の充実を図りながら対応する。

**下岡** スポーツ広場のフェンスの修繕が行われても、その周辺に危険なフェンス破れがあるが、総合的な修繕計画は。

**教育長** 市内の全社会体育施設の現状を調査し、市の総合計

## 校庭の安全

# シカが校庭内に侵入

### 教育長/衛生等について指導の充実を図る

画・実施計画とも関連付けた施設改修計画を策定する。緊急 性の高い施設から優先的かつ計画的に修繕工事を行う。



フェンスの無い校庭内にシカの糞が散乱

**石飛** ICT（情報通信技術）の利用推進室を設置し、本市ゆかりのIT事業に秀でた縁故者に参画して頂き将来を見据えた論議をした上で利活用推進を。

**市長** ICTは、高度な専門技術及び豊富な知識を必要とし現行では限界がある。秀でた人材の活用が必要だ。ICT関連の専門部局設置は相当厳しい。



**石飛 慶久**  
(無所属)

**ICTの利用推進体制**

**縁故者を参画、将来を見据えた論議を**  
**市長／ふるさと応援の会を通じて**

**石飛** 地元ICT企業家を育て、雇用の場を設けては。  
**市長** ふるさと応援の会などを通して、有能な出身者を模索



設置予定の広告看板（イメージ）

している。  
**石飛** クリスタルアイジヨの玄関先に、広告看板を出されるが、作成にあたって地元業者利用の考えは。  
**市長** 更新時に検討したい。民間活用で市は発展する。企業誘致が重要。

**玉重** 昨年の市議会選挙において、若年層の投票率は。  
**総務部長** 高齢化が進んでおり、基準を取るのが難しく安芸高田市では収集していない。全国的には若者の選挙離れが進



**玉重 輝吉**  
(無所属)

**市議会選挙**

**若年層の選挙の投票率は**

**市長／選挙離れが進行**

んでいる。  
**玉重** 生徒議会等、啓発活動は評価するが、実際有権者となった時、年齢層別投票状況の調査が必要では。  
**市長** 行政としても、指摘のように対応していかないといけないと思う。



生徒議会を体験した中学生は今…

**玉重** 若年層が多数選挙に参加してこそ、若い世代の意見が市政に反映されて行くと考えるが。  
**市長** 投票率を上げるために、若い方々が市政に関心を持つ広報をしていく。

社会福祉協議会

**行政支援は**

**市長／定期的に協議する**



**金行 哲昭**  
(政友会)

題解決に努めている。  
**金行** 教育制度改革が行われようとしているがどうお考えか。

**市長** 教育再生実行会議において、市長の任免権を市長が直接持ち、教育長は教育行政の最高責任者とするとのことだが、今後の中央教育審議会を注視していく。

**金行** 市と社会福祉協議会との関わりは非常に大切なものがある。社協の役割・機能・使命に対する行政の支援と、社会福祉法第109条の解釈運用は。  
**市長** 109条において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」であり、「市民総ヘルパー構想」の推進に中心的役割をしていただいている。支援についても定期的に協議し、課



地域福祉を担う社会福祉協議会

**2年経過の課題を反映した今後の運行を**

**お太助ワゴン**

市長／市民の負託に応えるような展開にしていきたい



**秋田 雅朝**  
(政友会)

である。

**秋田** 通院目的の市民の予約の優先的対応と、予約が集中する便の増便等の対応は。

**市長** 多くの市民の利便性をかなえたいと考えるが、暗中模索で検討している状況。課題について市民の負託に応えるようにしたい。



朝一番のお太助ワゴンで通院

**秋田** 三江線の利用促進・活性化対策は。  
**市長** 生活交通路線として必要と考えている。本市単独の取り組みは効率的でなく、活性化協議会と連携して取り組みを進めたい。

**その他の質問**  
 ○雇用促進住宅高宮  
 ○造林事業について

**先川** 地域経済の活性化を図る一環として、過去発行したことがある（平成20・21年度）プレミアム商品券発行事業の可否について伺う。

**市長** この事業は、地域経済活力創出の



**先川 和幸**  
(無所属)

地域経済の活性化

プレミアム商品券の発行は

市長/今のところ考えていないが、今後国の動向を注視する

有効な手段と考えている。今のところ、市単独での実施は考えていないが、今後の経済対策の動向を注視し、施策の実施を検討する。

**先川** 向原公民館と向原支所3階の市民ギャラリーの今後の取り扱いを伺う。

**教育長** 現在建設中の向原生涯学習センターの使用開始を、本年11月始めを予定している。公民館は本年10月末で廃止し、次年度解体撤去を予定している。市民ギャラリーは、寄贈作品等の美術品収蔵庫として考えている。



地域経済に活力を



**久保 慶子**  
(無所属)

**久保** 芸備線利用促進として、JRへのエレベーター設置要望の結果は。

**市長** 「大変厳しい経済情勢の中で、今すぐには対応できない」というJRの回答。

**久保** 向原駅・甲立駅を利用してみて、階段がきつく利用しにくいと感じた。吉田口駅のように平坦に近い状況にすれば、利用が進むと考えるが。

**市長** 跨線橋こせんきょうは、利用者の安全確保のために設置しており、JRの安全基準上、撤去は現時点では困難である。

芸備線の利用促進

吉田口駅のような平坦に近い状況に市長/検討課題とし、強く要望していく

今後「芸備線対策協議会」やJRとも協議する。趣旨は分かるので、強く要望していく。

○その他の質問  
○維新の会橋下共同代表の発言への見解について  
○有害鳥獣(特にシカ)対策のその後について



高齢者に負担の大きい向原駅の階段

健康づくり

個人データ化の管理整備は

市長/健康管理システムを導入



前重 昌敬 (絆)

前重 健康づくりの担当窓口を一本化した一元的な体制整備等は。  
市長 類似する諸事業は部局間で調整し、効率的かつ効果的な取り組みを行う。

前重 個人データ化の管理整備が必要では。  
市長 子どもから大人までの健康管理システムを年度内に導入する。

前重 カード化によるポイント制、会員制など市民へ優遇される仕組みは。

市長 健康づくりに結びつく取り組みと考えるが、今後の課題とする。

前重 土師ダム周辺環境整備施設設置及び管理条例の、利用料金一律について今後は。  
市長 市内利用者優遇については困難。



市民ウォーキング 健康づくりへ第一歩



道の駅シンボルマーク (国土交通省)

青原 「道の駅」の検討委員会については。  
市長 平成24年11月に立ち上げ、3回開催し、25年3月に答申をいただいた。委員は、大学教授、JA、商工会、道の駅長、地域振興事業団、地域振興会、工業会、市で、オブザーバーとして国交省に参加いただき、検討いただいた。



青原 敏治 (あきの会)

道の駅

検討委員会とは

市長/大学教授ほか8団体で組織

青原 土師ダムサイクリングターミナルの宿泊については。  
市長 宿泊施設については、滞在型に結び付くことが見えない。考えてなければいけないと思う。民間活力でできれば一番いいと思っている。



新しくなった土師ダムサイクリングターミナル

**玉井** 芸北きれいセンターの現状と課題は。  
**市長** ごみの搬入量は前年より2.3%増加しているのが現状。事業系一般廃棄物が前年より5.3%増加し、家庭系のごみも若干増加。18年間稼働しているきれいセンターは年間数千万円の修理費が必要な状況であり、今後の施設整備方針について今年度中に方向性を検討。ごみの処理

ごみ処理

これからのごみ処理政策は  
**市長**「みえる化」重視の政策を展開



玉井 直子 (無所属)

だけでなく、分別によるリサイクル、ごみの発生そのものを抑制する取り組みが重要になる。



回収したプラスチックは更に手作業で分別

**玉井** 回収された資源ごみの行方の「みえる化」は。  
**市長** 資源ごみのうごき、流れを理解してもらい、「みえる化」を重視しながら政策を展開していく。

**児玉** 食物アレルギーの子どもが増加している。現在の取り組みは。  
**教育長** 代替食対応の給食を実施し、緊急事態には、アドレナリン注射液の対応ができるよう取り組みは。



児玉 史則 (絆)

児童・生徒へのアレルギー対応は  
**教育長**配膳ルールの統一化を進める

んでいる。

**児玉** 配膳に関し、保育所、小・中学校の統一したルールが必要では。また、緊急時を想定した模擬訓練も必要ではないか。  
**教育長** 全ての関係機関に徹底するよう研究を急ぐ。



アレルギー食の調理作業

すると医療費が微増にとどまっている。  
 「二人あたりの医療費を22年度、23年度並みにすれば国保税を下げますよ」といった、頑張れる目標が必要ではないか。  
**市長** 国保運営協議会で方向性を検討し、市民の協力がいかに財政的に貢献するか、啓発の方向を考えてみたい。

### 借地料

## 不動産、土地対策は

市長／現状のまままで



山本 優 (絆)

**山本** 市役所周辺の駐車場はほとんど借地であるため利用しにくいが今後は。集約して立体化等についての考えがあるか。  
**市長** 職員の協力金で、ある程度を賄っている。また、立体化などについては建設費などに多額の経費をかけるより、借地条件も良いので現状のままが最善と考

**山本** 54号線可部バイパスが26年3月には開通し、人口増が想定される。住宅需要やバス路線の交通

対策など今後の計画は。  
**市長** 住宅対策は、市有地、民有地問わず民間の活力も活用していく。交通対策（大林バスターミナルを八千代町へ延伸）はバス会社との関係もあり困難である。



期待される住宅需要

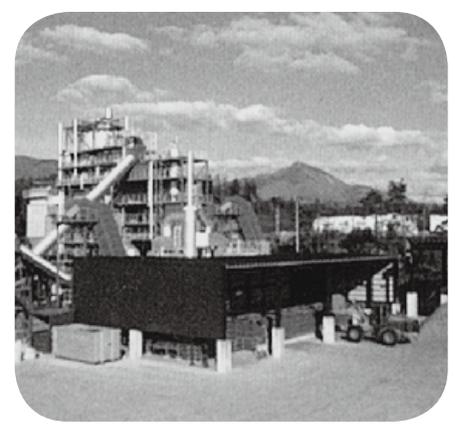
## 木質バイオマス発電所を 救世主に 市長／メリットがあるかどうか 確かめる



熊高 昌三 (無所属)

**熊高** 荒廃した森林への対策は。  
**市長** 人工林、天然林それぞれ補助事業等で対応し、今後も各機関と連携して対応する。

**熊高** 森林には生物



木質バイオマス発電施設 (福島県会津若松市)

多様性保全、水源滋養、物質生産機能等がある。市の各部署が多面的、水平的に取り組む必要はないか。

**市長** 必要と考えるが、まずは山に入れる仕組み作りのため、国全般と環境庁等へ根強く訴えながら取り組んでいく。

**熊高** 全国で木質バイオマス発電所建設が進められ、燃料の木材提供で森林再生も図っていかうとしている。本市の取り組みの考えは。

**市長** 情報不足であり、これから研究する。

**熊高** このことは3月定例会でも提案してある。

**市長** 私の目ですっかり確かめた上で改めて報告する。

**その他の質問**  
○果樹農家の現状と支援について

○お太助フォンの課題と対策について

○受動喫煙防止対策について

○議会と執行部の役割と関係について



議会広報特別委員会

5月23日、24日の両日、  
議会広報特別委員会の研修  
を実施しました。

委員長	石飛慶久
副委員長	穴戸邦夫
委員	玉重輝吉
	玉井直子
	久保慶子
	前重昌敬

研修報告

5月23日～24日

わかりやすい 読みやすい 広報誌

京都市 広報基礎講座 京都セミナー2013

<p>講義【1】企画・取材のノウハウ</p>	<p>講義【2】編集・レイアウトの基礎と応用</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画時に読者層を想定し、題材を念入りに分析し、企画記事に共感・興味を持っていただく手法が重要。</li> <li>・取材のノウハウは、取材時におけるすべき態度、してはいけない態度行動を身につけることが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌づくりの基礎としては、常に読者の立場を意識した企画・編集が必要。</li> <li>・レイアウトは、効果的な「視覚演出」を考えることが重要。</li> </ul>
<p>講義【3】文章の書き方・用事用語の使い方</p>	<p>講義【4】広報写真の撮り方と活用</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の技術として、わかりやすい文章を書くこと。</li> <li>・表記の基礎として、読みやすい表記を心がけること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物撮影は笑顔の中に躍動感を出す。</li> <li>・首長の立ち位置と撮影方法。</li> <li>・集合写真は笑顔の中に連帯感を写す。</li> </ul> <p>上記等、多岐にわたり実践講義あり。</p>

◎研修で学んだこと

この度の広報基礎講座は、行政が発行する広報誌を対象とした講座であった。議会だよりに取り入れられる事項も多くあり、今後の議会だよりの作成に活かしていきたい。

# 24年度 政務調査費 《1人月額3万円支給》

## 【改選前】

平成24年4月～11月までの8ヵ月分

項目	金額(円)	
収入(交付金)	3,300,000	
支出	調査研究関係費	1,534,825
	資料関係費	438,030
	広報広聴関係費	15,330
	その他	0
	合計	1,988,185
残余额(返還額)	1,341,815	

## 【改選後】

平成24年12月～25年3月までの4ヵ月分

項目	金額(円)	
収入(交付金)	1,320,000	
支出	調査研究関係費	665,125
	資料関係費	208,292
	広報広聴関係費	0
	その他	0
	合計	873,417
残余额(返還額)	446,583	

氏名	申請	支出額(円)
熊高 昌三	○	107,509
前重 昌敬	○	171,554
石飛 慶久	—	
児玉 史則	—	
大下 正幸	○	55,610
水戸 眞悟	○	20,400
先川 和幸	—	
山根 温子	○	151,710
宍戸 邦夫	—	
山本 優	○	189,841
前川 正昭	—	
秋田 雅朝	○	190,863
赤川 三郎	○	110,043
青原 敏治	○	185,369
金行 哲昭	○	192,210
入本 和男	○	179,038
今村 義照	○	215,790
亀岡 等	—	
塚本 近	○	121,772
藤井 昌之	○	96,476
合計	14人	1,988,185

氏名	申請	支出額(円)
玉重 輝吉	—	
玉井 直子	○	16,315
久保 慶子	○	24,800
下岡多美枝	—	
前重 昌敬	○	120,000
石飛 慶久	—	
児玉 史則	—	
大下 正幸	○	16,480
水戸 眞悟	—	
先川 和幸	—	
熊高 昌三	○	99,897
宍戸 邦夫	—	
山本 優	○	120,000
秋田 雅朝	○	120,000
藤井 昌之	○	120,000
青原 敏治	○	103,325
金行 哲昭	○	120,000
塚本 近	○	12,600
合計	11人	873,417

■交付上限 1人 24万円

※5月～7月までの7ヵ月分(交付上限21万円)

■交付上限 1人 12万円(超えた部分は自己負担)

# 政務調査費から政務活動費へ

## 「安芸高田市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」

平成25年3月1日から施行

### 改正内容

- ① 交付目的：「要請・陳情活動費、会議費」を加え「議員の調査研究その他の活動に資するため」に変更
- ② 政務活動費を充てることができる経費の範囲を条例で定めることを規定
- ③ 議長に政務活動費についての使途の透明性の確保の努力義務を課す旨を規定

### 【政務活動費として支出できるもの】

改正前項目	改正後項目	内 容
研究研修費	研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が主催する研修会の参加に要する経費
調査旅費	調査研究費	議員が行う市の事務、地方財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
資料作成費	資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	広報費	議員が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費
広聴費	広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
〔追加〕	要請・陳情活動費	議員が要請及び陳情活動を行うために必要な経費
〔追加〕	会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
その他の経費	削除	削除

## 議員表彰

## ○全国市議会議長会表彰

熊	秋	青	塚
高	田	原	本
昌	雅	敏	
三	朝	治	近

## ○中国市議会議長会表彰

熊	金	塚
高	行	本
昌	哲	
三	昭	近

議会

マメ知識

## 議員の寄付行為の禁止

議員は、公職選挙法により、選挙区内の人にお金や物を贈ったり、年賀状などのあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除きます）を出したりすることが禁止されています。

たとえば、議員が市内のお祭り、会合、スポーツ大会、親睦旅行などに対して、「寄付やお祝い」「飲食物の差し入れ」などをした場合には違法行為として処罰されます。

また、個人に対しても、「病気見舞い」「入学や卒業等の祝い金」「お中元やお歳暮などの贈り物」を贈ることが禁じられています。（ただし、議員本人が出席する結婚披露宴の祝儀や葬儀の香典は例外的に罰則の対象となりません。）

# 議会のうごき 25年4月～6月の議会の活動状況

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
4	9・16 23		議会広報特別委員会	議会だより第37号の編纂
	16	火	全員協議会	市長、議長、委員会報告等
	26	金	産業建設常任委員会	高宮堆肥センター等の現地調査
5	13	月	総務企画常任委員会	所管部局の事務分掌等の調査
	14	火	文教厚生常任委員会	所管部局の事務分掌等の調査
	15	水	産業建設常任委員会	所管部局の事務分掌等の調査
	17	金	議会運営委員会	平成25年第2回定例会の運営について
	20	月	全員協議会	平成25年度議会報告会について
	23～24		議会広報特別委員会	広報基礎講座京都セミナーへ参加
6	6・18 26・27		議会運営委員会	平成25年第2回定例会の運営について
	13	木	第2回定例会（開会）	議案の上程、委員会付託
	14	金	予算決算常任委員会	25年度一般会計・特別会計補正予算の審査
	17～18		第2回定例会（一般質問）	質問者15人
	19・20		全員協議会	職員給与減額に伴う議員報酬について 議会改革について
	20	木	総務企画常任委員会	八千代支所整備計画の進捗状況調査ほか
	21・25		文教厚生常任委員会	陳情書審査、あじさい聖苑現地調査ほか
	24	月	産業建設常任委員会	陳情・要望書審査、道の駅の調査ほか
28	金	第2回定例会（閉会）	委員長報告、議案の採決	

■25年第3回定例会は9月に開催を予定しています。

※ 詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせいたします。

## 傍聴記

美土里町

谷村博之さん

私の住む美土里町生田青地区は鳥根県境に位置し、一部に携帯電話も通じず、老人を残して町外に勤める現況にあります。この不通地区解消についての嘆願書を提出して、その後、市議会を傍聴しました。

当日も重要課題が数多く上程されており、市長様をはじめ市議会議員の皆様も非常に熱心に審議されておりました。

「少子・高齢化」「過疎化」の激流の中で将来展望の灯りを求め、ご苦労いただく皆様と、傍聴を通して問題を共有したいと考えます。

# 地域のかがやき

**吉田** 今年も準備万端 隠地講中  
(猿掛城ふもと)



毛利弘元墓前祭 (7月16日)

**八千代** 暑い夏をふきとばせ!



刈田保育園夏祭り (7月13日)

**美土里** 陰陽の絆



美穂神楽団結成50周年記念 (6月30日)

**高宮** 伝統の大会  
34チーム 約200名が熱戦



第42回高宮町内PTA親善ビーチバレーボール大会 (6月16日)

**甲田** 目指せ優勝 小型ポンプ操法県大会  
(9月7日開催)



安芸高田市消防団甲田方面隊

**向原** 学校と地域の連携



小中高地域合同の美化活動 (5月29日)  
(サルビアの花植え)

編集後記

例年より早い梅雨入り。そして梅雨明け。これも、地球温暖化と何か関係があるのでしょ

か。  
年間の水源の確保の意味あいからみると必要な雨も、度を越すのは、困りものですね。

先般、議会広報特別委員会の研修に参加しました。わかりやすい読みやすい広報の編集に、活かしたいと心をあらたにしたところ

です。  
市民の皆様の、さまざまご意見で、育てていただきたいと思います。

(久保慶子)

〈発行責任者〉

議長 塚本 近

〈議会広報特別委員会〉

委員長 石飛 慶久

副委員長 穴戸 邦夫

委員 玉重 輝吉

委員 玉井 直子

委員 久保 慶子

委員 前重 昌敬

